

進化する

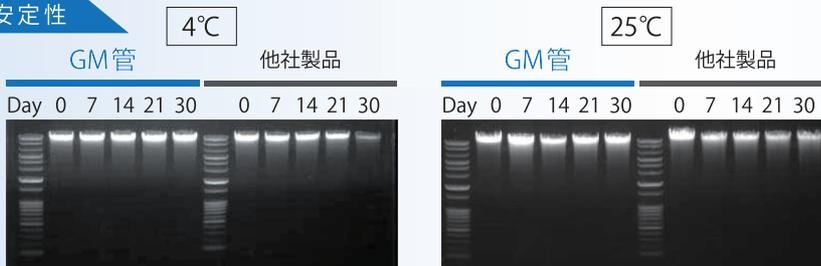
がんゲノム医療 に寄り添う技術



医療の進歩により、様々な分子標的薬が開発され、「個」に注目したコンパニオン診断が普及しました。2019年には複数の遺伝子変異を網羅的に調べる「がん遺伝子パネル検査」が公的保険適用になり、新たな治療法「がんゲノム医療」が行われています。がん遺伝子パネル検査は、採取された組織、細胞が検査センター等にて遺伝子解析されますが、輸送時のゲノムの品質維持は検査精度に影響を及ぼす重要な課題です。本品、核酸保存容器「GM管」は、医療機関の手間削減と検査精度の向上を実現します。

- ・医療機関におけるディープフリーザー（-80℃）、輸送時の液体窒素、ドライアイスの準備が不要。
- ・常温下での輸送が可能。
- ・Hassle-Free。採取した検体をダイレクトにチューブに入れるのみ。
- ・採取した組織片に素早く浸透して核酸（DNA および RNA）を損傷なく安定に保護。がん遺伝子パネル検査に対応可能な高品質のゲノム DNA、RNA が得られる。

DNA の安定性



マウス肺組織：常温で30日間、質の高いDNAの保存可能

マウス肝臓においても30日間保存で損傷の無いDNA、RNAが得られることを確認しています。

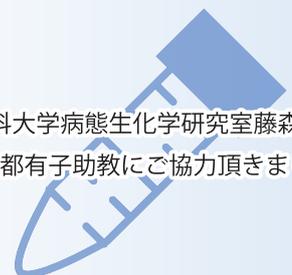
核酸抽出：ALL Prep Mini Kit
(Cat.No.80204；Qiagen)

RNA の安定性



マウス肺組織：常温で30日間、質の高いRNAの保存可能

大阪薬科大学病態生化学研究室藤森功教授、前原都有子助教にご協力頂きました。



GM 管の使い方とその特徴



組織・細胞
(5 mm以下に細断)



保存液の分注作業不要
(分注済)
ホルマリン固定、凍結不要



常温輸送



がん遺伝子パネル検査用の
ゲノム DNA、RNA が得られ
高精度の検査が可能

GM 管の標準仕様

項目	仕様
使用方法	検体を 1 辺が 5mm 以下となるよう細断し、溶液中に沈めてください。 投入できる組織量は 200mg 以下です。 ※沈殿がみられたら 40℃の水浴で溶解させてからご使用ください。
輸送時の適用温度	冷蔵 (4℃)、常温 (15 ~ 25℃) ※検査サービスに利用する場合は、検査のプロトコルに従ってください。
検体保存期間	30 日 ※検査サービスに利用する場合は、検査のプロトコルに従ってください。
使用用途	検体の輸送、一時保管
内容物	2.0 mL の溶液 × 25 本 (箱入り)
容器詳細	チューブ材質：ポリプロピレン (PP) スクリューキャップ：高密度ポリエチレン (HDPE) 容器サイズ：5.0 mL 直径 17mm 耐用温度：-86℃から 100℃ 耐遠心力：25000 x g
使用期限	製造日より 1 年 (常温)

※本数、容器、液量、ラベル等の仕様変更について、ご相談ください。

会社案内

名称 合同会社 ジーンメトリックス

住所 〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目3番8号 三甲大阪本町ビル7階

TEL 06-6261-6303

HP <http://www.trustmedical.jp/cat43/>

設立の背景 ジーンメトリックスは、がんのパネル検査およびその関連製品の開発・販売を目的に、2016年に設立した会社です。合同会社として、トラストメディカル株式会社、モリマーエスエスピー株式会社、奈良先端科学技術大学院大学の加藤菊也客員教授が参画しております。